

健康応援トピックス

受けよう！がん検診 ～早期発見、早期治療を～

現在、日本では2人に1人ががんになるといわれています。特に初期のがんは自覚症状が少なく、気づきにくいことが多いため、定期的に検診を受けることが大切です。がんは、早期発見・早期治療により治る確率の高い病気です。

■あま市のがん検診(令和6年度)では、66人の方にがんが見つかっています。

胃がん 8人	肺がん 3人	大腸がん 23人	前立腺がん 20人	乳がん 12人	子宮がん 0人
-----------	-----------	-------------	--------------	------------	------------

■がん罹患者が多い部位

愛知県 2021年

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	前立腺	肺	胃	大腸	膵臓
女性	乳房	大腸	肺	子宮	胃



第2次あま市健康づくり計画最終評価のためのアンケート調査報告書により、市で実施しているがん検診の受診率をみると、全体の平均が40%を下回っており、国が目標とする60%には程遠い状況です。

職場等で受ける機会がない方は、是非あま市のがん検診をご利用ください。あま市のがん検診については、広報5月号と同時配布の「がん検診ガイド」または市公式ウェブサイトでご確認ください。

●話してみませんか？ あなたの心の悩み

精神保健相談会(要予約)

■日時:9月11日(金) ①午後1時30分～ ②午後2時30分～

■場所:甚目寺保健センター

■内容:医師による、心の悩みに関する個別相談です。本人だけでなく、ご家族の方も相談できます。

※ご希望の方は、甚目寺保健センターにご予約ください。



予約・問 健康推進課 甚目寺保健センター ☎443・0005

あま市民病院だより いつもと違う頭痛には要注意

脳神経外科では、頭痛は日常診療において遭遇する機会が非常に多い症状の一つです。頭痛には大きく分けて、脳に原因があって起こる頭痛(二次性頭痛)と、特に異常がない一次性頭痛があります。

二次性頭痛には、くも膜下出血(脳血管の分岐部に動脈瘤というこぶができ、それが破裂することで頭蓋内に出血を来す疾患)や脳腫瘍など、生命に関わる疾患が潜んでいることがあります。脳神経外科では、検査によってそういった疾患がないかを調べます。

また、慢性の頭痛の大部分は、脳に異常が認められない一次性頭痛であり、このような頭痛にはストレスや食生活、アルコールなどの嗜好品、睡眠不足、痛み止めの飲み過ぎなどが関与しています。治療の主体は、薬物療法や生活習慣の改善になります。

突然の頭痛や、これまでとは違う頭痛が起こったときは、頭蓋内に異常がある可能性もあるため、早めに脳神経外科の受診をお勧めします。



あま市民病院 脳神経外科 うちだ あつし 打田 淳

公益社団法人
地域医療振興協会あま市民病院
Japan Association for Development of Community Medicine 〒490-1111 あま市甚目寺畦田1番地
～市民と連携機関に信頼され、健康と安心を提供する病院～
掲載に関するお問い合わせ：8:30～17:00(土日祝日を除く)
☎ 052-444-0050 ☎ 052-444-0064

随時情報更新しています
ぜひお手元のスマートフォンのカメラ機能で読み込んでご覧ください

あま市民病院
公式ホームページ

あま市民病院
公式Instagram